

旧作業服回収しリユース

笠原建設

海外での再利用
ワクチン寄付金
国際支援など一助に

糸魚川市能生の笠原建設（鈴木秀城社長）は作業服を一新した機に合わせ、不用に

の生徒や森林保護に従事するレンジャーの着用に再利用されるほか、リユースに係る費用の一部が寄付金となつてラオスでのポリオワクチン接種支援などに役立てられる。

同社では新型コロナウイルスウィルスワクチンの職域接種会場を本社ホールに設置して行った経験があり、リユース回

収の取り組みの中でもワクチン接種活動への支援が含まれた「古着deワクチン 作業服版まごころプロジェクト」の趣旨に賛同して実施した。取締役常務執行役員の吉田均さん（66）は「ワクチンの重要性を感じた」と振り返り、資源循環や国際支援への関心を高める一助にと願った。



なつた旧作業服のリユース回収を行った。回収した作業服はフィンボジアの職業訓練校

同社は環境事業でリサイクル分野に取り組んでおり、今回のリユース回収に全社挙げて協力。新しい作業服の貸与に伴って社員180人それぞれから旧作業服が寄せられ、全体で約1000着が集まった。

全社員から寄せられた旧作業服をリユース回収専用の大きな袋に詰めて発送準備を整えた（9日）

